

令和元年 7 月 3 0 日

令和元年度における世界文化遺産の推薦候補の選定について (文化審議会の審議結果 (報告))

7 月 3 0 日 (火) に開催された文化審議会世界文化遺産部会において、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が本年度の世界文化遺産の推薦候補として選定されました。詳細は別紙のとおりです。

<本件担当>

文化庁文化資源活用課

電 話：03-5253-4111 (代表)

課 長：伊藤 史恵 (内線 2859)

文 化 戦 略 官：石田 徹 (内線 4784)

世界文化遺産企画係長：中谷 一穂 (内線 4762)

選定物件

世界遺産一覧表への記載に向けて今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を選定する。

選定理由

昨年７月、文化審議会は、世界遺産一覧表への記載に向けて、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を文化遺産の推薦候補として選定した。その後、政府として検討した結果、当該物件の昨年度の推薦が見送られたところ。

このため、文化審議会としては、「平成３１年度における世界文化遺産推薦候補の選定の基本的な考え方について（平成３１年１月２３日文化審議会決定）を踏まえ、昨年度の答申内容をそのまま引き継ぐことを基本としつつ、「世界文化遺産推薦書の準備状況を判断する際の観点」（平成２９年４月２４日文化審議会世界文化遺産部会決定）に照らして、あらためて「北海道・北東北の縄文遺跡群」について進捗状況の確認を行った。

その結果、当該物件については、推薦書の提出までにさらなる充実を図る必要があるものの、顕著な普遍的価値が認められ得ると考えられ、かつ推薦内容の検討が進んでおり、また推薦後の審査・評価を推薦内容の見直しに反映させる余地が大きいと考えられることから、昨年度に引き続き、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を今年度の候補として選定する。

なお、昨年度に申請のあった「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」については、昨年度から一定の進捗が見られ、今後、関係自治体が推薦書案の準備をさらに進めていくことにより、引き続き、「北海道・北東北の縄文遺跡群」に次ぐ案件として、有力な推薦候補案件となり得るものとする。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

【名称】「北海道・北東北の縄文遺跡群」

【構成資産】

北海道：入江貝塚^{いりえ}，大船遺跡^{おおふね}，垣ノ島遺跡^{かきのしま}，キウス周堤墓群^{しゅうてい ぼぐん}，
北黄金貝塚^{きたこがね}，高砂貝塚^{たかさご}

青森県：大平山元遺跡^{おおだいやまもと}，大森勝山遺跡^{おおもりかつやま}，亀ヶ岡石器時代遺跡^{かめがおか}，
小牧野遺跡^{こまきの}，是川石器時代遺跡^{これかわ}，三内丸山遺跡^{さんないまるやま}，
田小屋野貝塚^{たごやの}，二ツ森貝塚^{ふたつもり}

岩手県：御所野遺跡^{ごしょの}

秋田県：伊勢堂岱遺跡^{いせどうたい}，大湯環状列石^{おおゆ かんじょうれつせき}

【概要】

東北アジアの多様な地理的・自然的環境において，採集・漁労・狩猟を基盤に1万年以上前から定住が開始，発展，成熟し，長期間継続した先史文化の生活や祭祀・儀礼のあり方を示す17の考古学的遺跡からなる資産。

【暫定一覧表記載年】平成21（2009）年



北黄金貝塚



三内丸山遺跡



御所野遺跡



大湯環状列石